

# 3賢者の道たどり山形の魅力

## 義経

## バード

## 芭蕉

「イザベラ・バードの道」を昨年踏査した東京のまちづくりグループ「元氣・まちネット」(矢口正武代表)戸沢村出身)が、三月一日に山形市霞城セントラル内の市保健センターで、「山形を元気にするシンポジウム」最上川・街道・三賢者」を通じた観光活性化」を開く。

「まちネット」はおととし、源義経が平泉(岩手県)に逃れる際に通ったとされる奥内ルート(を、昨年は本県を「アジアのアルカディア(桃源郷)

と称賛したイギリスの女性旅行家イザベラ・バードの道(を踏査した。ことしは芭蕉の「おくのほそ道」をたど

る計画。こうした活動は本県の新たな観光の魅力を掘り起こし、東京から発信するのが狙いで、義経、バード、芭蕉を三賢者と位置付けている。シンポジウムは午前十時に開会。芭蕉研究で知られる尾花沢市歴史文化専門員の梅津保一さん、奥山岳連盟の登山隊で中国チベット自治区の未踏峰ヤラシャンポの初登頂を果たした吉田岳さんが講演し

### 「元氣にするシンポジウム」

——山形で3月1日

その後、義経ルートやバードの道に関連してまちおこしに取り組む県内自治体の関係者が事例報告する。さらに、まちネット会員の神原理専修大教授の進行でパネル討論を行う。

定員百人。シンポジウムの参加料は千円。懇親会は別途四千円。申し込みは二十三日まで、「元氣・まちネット」03(30829)4691へ。